

(トップページ：<http://mylibrary.maedal.jp/>)

(GDP (IMF WEO)：<http://mylibrary.maedal.jp/GDP.html>)

マイライブラリー：0600

(注)本稿は2024年4月20日から29日まで6回に分けて「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2024.5.7

前田 高行

IMF 世界経済見通し(2024年4月)：低成長続く先進国、高成長続くインド

IMF(国際通貨基金)が「世界経済見通し(World Economic Outlook、April 2024)」(以下、WEO)を発表した。また付属資料として世界各国及び地域の主要な経済指標を示した「データベース(World Economic Outlook Database)」も同時に公表した。

本稿では世界、主要経済圏、主要国の今年(2024年)及び来年(2025年)の成長率を比較し、また前回1月の経済見通し(World Economic Outlook Update)に対してGDP成長率がどのように見直されたかを検討する。さらに主要5カ国及び世界平均の2021年以降の5か年の成長率の推移を比較する。また今年の名目GDP(at current price)及び一人当たりGDPについても併せて検証する。

*WEO レポート:

<https://www.imf.org/en/Publications/WEO/Issues/2024/04/16/world-economic-outlook-april-2024>

*同データベース

<https://www.imf.org/en/Publications/WEO/weo-database/2024/April>

(今年と来年の世界の成長率は3.2%、中国4.6%、前回1月とほぼ変わらず!)

1. 2024/25年のGDP成長率(末尾表1-B-2-08参照)

今回4月見通しでは今年の世界の成長率は3.2%とされており、前回1月(3.1%)とほぼ変わらない。米国の今年の成長率は2.7%であり、1月見通し(2.1%)より成長が加速すると予測している。因みに来年の成長率は1.9%とされ、今年よりも低下する見込みである。日本の今年と来年の成長率はそれぞれ0.9%及び1.0%の低成長が続くと予測される。ヨーロッパの独は、昨年のマイナス成長(▲0.3%)から今年は0.2%のプラス成長に戻り、来年は日本を上回る1.3%成長の見込みである。しかし1月見通しよりも回復の足取りは重く、依然低成長のままである。

中国のGDP成長率は今年4.6%、来年4.1%であり、来年は成長率が下がる。両年とも1月見通しから変わっていない。インドの成長率は今年6.8%、来年6.5%であり、共に世界平均を2倍以上上回る高度成長が見込まれている。ASEAN5カ国は今年4.5%、来年4.6%であり、中

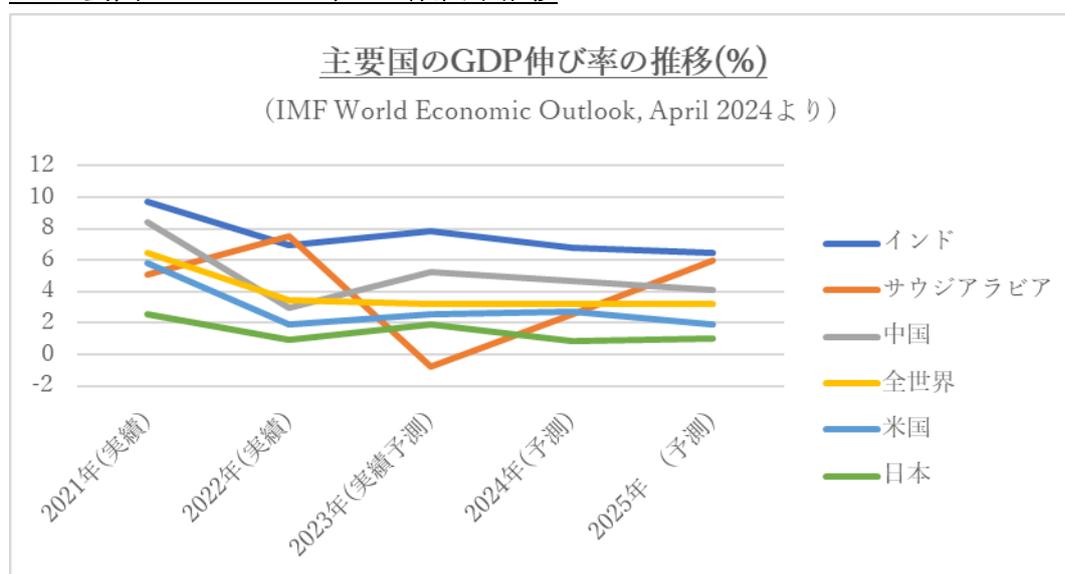
国とほぼ同じである。

ロシアはウクライナ紛争の先行きが見えないものの石油・天然ガスの生産輸出は堅調である。このため同国の今年の成長率は3.2%である。但し来年は1.8%と大幅に下落すると見込まれ、ウクライナ紛争が影を落としている。

中東の主要国を見ると、今年の成長率はサウジアラビア 2.6%、エジプト 3.0%、トルコ 3.1%、イラン 3.3%でありほぼ世界平均の水準である。来年については4カ国はそれぞれ6.0%、4.4%、3.2%及び3.1%であり、今年と全く逆の序列である。

(高度成長を続けるインド、成長率5%前後に収斂しつつある中国！)

2. 主要国の2021-2025年GDP成長率推移



日本、米国、中国、インド及びサウジアラビア5カ国に全世界を加えた2021年から2025年まで5年間のGDP成長率の推移を見ると以下のとおりである。

まず2021年の実績成長率はインドが9.7%と最も高く、これに次ぐのが中国の8.5%、米国5.8%、サウジアラビア5.1%であり、日本は5カ国の中で最も低い2.6%であった。因みに全世界の2021年GDP成長率は6.5%であり、インド、中国より低く、米国より高かった。

この順位はサウジアラビアを除き5か年を通じてほぼ変わらない。インドの5年間の成長率は、9.7%(2021年)→7.0%(2022年)→7.8%(2023年)→6.8%(2024年)→6.5%(2025年)であり、年々低下する傾向にあるが、2022年を除けば5カ国の中で最も高い成長率を維持している(注、2022年はサウジアラビアが7.5%でインドより高い)。

インドに次いで成長率が高いのは中国である。同国の5か年間の成長率は8.5%→3.0%→5.2%→4.6%→4.1%であり、2022年以外は世界平均を上回る成長率を示している。但しかつてのような高度成長は望めず、長期的には5%前後に落ち着きそうな気配である。

サウジアラビアの成長率は 5.1% (2021 年)→7.5% (2022 年)→▲0.8% (2023 年)→2.6% (2024 年)→6.0% (2025 年)と変動が激しい。同国の GDP は石油が太宗を占めており、世界の石油需要と価格に左右されることが原因と考えられる。

米国と日本はインド、中国よりもかなり低い成長を余儀なくされており、2022 年以降は米国は 2%前後、日本は 1%前後の成長率にとどまっている。両国の 5 か年の推移を見ると、米国は 5.8% (2021 年)→1.9% (2022 年)→2.5% (2023 年)→2.7% (2024 年)→1.9% (2025 年)であり、日本は 2.6% (2021 年)→1.0% (2022 年)→1.9% (2023 年)→0.9% (2024 年)→1.0% (2025 年)である。

(トップは米国、日本は中国ドイツに次いで世界 4 位！)

3. 世界の名目 GDP (末尾表 1-B-2-12 参照)

2024 年の全世界の GDP 総額は 109 兆 5,292 億ドルと見通されている。トップは米国の 28 兆 7,811 億ドルであり、2 位は中国の 18 兆 5,326 億ドルである。全世界の GDP に占める割合はそれぞれ 26%及び 17%、両国だけで世界の GDP の 4 割強を占め、3 位のドイツ以下を大きく引き離している。

GDP 世界第 3 位はドイツ (4 兆 5,911 億ドル)、4 位日本 (4 兆 1,105 億ドル)、5 位インド (3 兆 9,370 億ドル)であり、上位 5 カ国の合計 GDP は世界全体の 55%を占めている。日本とインドの GDP の差はわずか 1,735 億ドルに過ぎず、前章で触れた通り両者の成長率に大きな開きがあるため、インドが日本を追い抜くのは時間の問題である(次項参照)。

6 位から 10 位までは英国、フランス、ブラジル、イタリア及びカナダである。因みに上位 10 カ国の合計 GDP は全世界の 67%を占め、世界の富の 3 分の 2 は世界 200 カ国強のわずか 5%の国が生み出しているのが現状である。

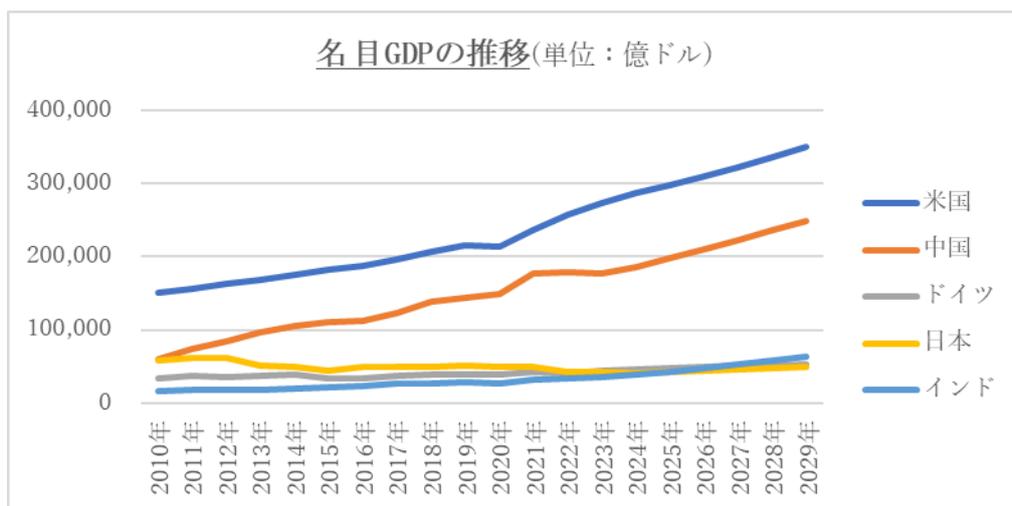
11 位のロシア以下 20 位スイスまでにはオーストラリア (13 位)、韓国 (14 位)の他、中東のトルコ (18 位)及びサウジアラビア (19 位)が入っており、世界 20 位までの国々の合計 GDP は世界全体の 8 割強を占めている。

上記トルコ、サウジアラビア以外の中東各国を見ると、イスラエルと UAE が 5 兆 3 千億ドルで世界 29 位及び 30 位であり、イランは世界 35 位、エジプトは同 43 位である。

経済圏で見ると G7 構成国の合計 GDP は 49 兆ドルで全世界の 44%を占め、EU は同 19 兆ドルでほぼ中国一国と肩を並べる水準である。また東南アジアの ASEAN5 か国の GDP 総額は 3 兆 5 千億ドルであり、中東・中央アジア圏の GDP 総額は 5 兆ドル弱である。

(低迷続く日本を追い抜くドイツ、インド！)

4. 五大国(米中独印日)の GDP 推移(2010~2029 年)



2024年のドル建て名目GDPが世界上位5カ国(米、中、独、印、日)について2010年以降2029年までの推移を見ると、2010年の米国のGDPは15兆ドルであり、2位は中国6.0兆ドル、日本は3位の5.8兆ドルであった。因みに中国が日本を追い抜き世界2位になったのはこの年のことである。ドイツ及びインドのGDPはそれぞれ3.4兆ドル、1.7兆ドルであり、ドイツは日本の6割、インドは日本の3分の1にとどまっていた。

その後2029年までの20年間の推移を見ると、特徴的なことは日本を除く4カ国はGDP総額が増加している一方、日本のみは年々名目GDPが低下しており、2029年に至るも2010年を下回っている(4.9兆ドル)ことである。因みに2010年を100とした場合2024年の各国GDPは、米国191、中国307、ドイツ135、インド235に対して日本は71にとどまっている。中国が2010年当時より3倍以上拡大し、インドと米国も2倍前後、ドイツは1.4倍に拡大したにもかかわらず日本のみは2010年の7割に縮小している。これは対ドル為替レートの変動に一因があると考えられるが、それにしても日本の経済力の低下は著しい。この結果、2023年に日本はドイツに追い抜かれて世界4位になり、さらにIMFの予測では来年(2025年)にはインドにも追い越され、日本は世界5位に転落する見込みである。

各国間の格差について米国を100とした場合のその他4カ国をその指数で見ると、2010年には中国が40、日本は38であり、両国は米国の4割程度の規模で並んでいる。これに対してドイツは米国の2割強、インドは1割強にとどまっている。その後中国のGDPの伸びが米国を上回り2021年には米国の4分の3の規模に拡大している。その後は若干足踏み状態であるが、2029年には米国の7割強と見込まれている。

インドは2010年時点では米国の経済規模の一割にとどまっていたが、その後はGDPが大きく拡大し、2029年には米国の二割弱の規模になる見込みである。ドイツと日本の経済規模も共に拡大する見込みであるが、米国との比較ではドイツが23(2010年)→15(2029年見込)に8ポイント下がるのに比べ、日本は同一期間中に38から14へと大幅に下がると試算されている。

(韓国よりも低い日本の一人当たりGDPは世界38位！)

5. 世界各国の一人当たり GDP (末尾表 1-B-2-04 参照)

一人当たり GDP が世界で最も高いのはルクセンブルグの 13 万 1 千ドルであり、これに次ぐのが 2 位アイルランド、3 位スイスである。これら 3 カ国が一人当たり GDP 10 万ドルを超えている。

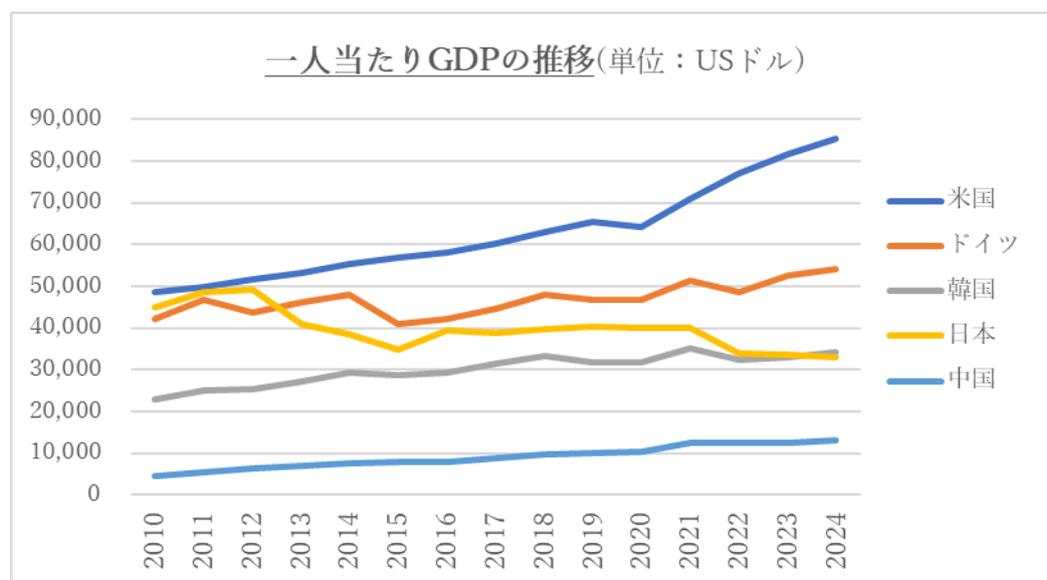
GDP(名目)が世界 1 位の米国は一人当たり 8 万 5 千ドルで世界 6 位である。そして中東のカタールが世界 8 位 (81, 400 ドル) に入っている。同国は人口、経済規模ともに世界の小国であるが、天然ガス (LNG) の輸出により一人当たり GDP は米国に次ぐ富裕国である。なお同国は人口の 8 割以上を占める中東・アフリカ・アジア地域からの出稼ぎ労働者が人口統計に含まれており、一人当たり GDP もこの統計値で算出されている。従ってカタール自国民のみを取り上げれば実際の一人当たり GDP は世界トップと見て間違いのないであろう。ドイツと UAE の一人当たり GDP は 54, 000 ドルであり、世界 19 位、20 位に並んでいる。

韓国、日本、中国の極東 3 カ国の一人当たり GDP はそれぞれ 34, 000 ドル、33, 000 ドル、13, 000 ドルであり、世界順位は 35 位、38 位及び 72 位である。次節に見る通り韓国は今年 (2024 年) 日本を追い抜いた。

カタール、UAE 以外の中東の主要国は、イスラエル (53, 000 ドル、世界 22 位)、サウジアラビア (33, 000 ドル、世界 39 位)、トルコ (13, 000 ドル、世界 75 位)、イラン (5, 300 ドル、世界 117 位)、エジプト (3, 200 ドル、世界 135 位) である。

(日本だけが低落し続ける一人当たり GDP !)

6. 米独日韓中 5 カ国の一人当たり GDP の推移 (2010 年～2024 年)



米国、ドイツ、日本、韓国及び中国の 5 カ国の 2010 年から 2024 年までの一人当たり GDP の推移を見ると以下のとおりである。

2010 年の一人当たり GDP は、米国が 49, 000 ドル、日本 45, 000 ドル、ドイツ 42, 000 ドル

と4万ドル台で並んでいた。そして韓国は23,000ドルでこれら3カ国の2分の1前後であり、中国は10分の1の4,500ドルにとどまっていた。

その後、米国、韓国及び中国の一人当たりGDPは年々伸び、ドイツは横ばい状態であった。その一方日本のみは長期低落傾向に陥った。この結果、2013年には日本はドイツに追い抜かれ、2015年の各国の一人当たりGDPは米国の57,000ドルに対して、ドイツ、日本、韓国及び中国はそれぞれ41,000ドル、35,000ドル、29,000ドル及び8,000ドルであった。日本は米国の6割にとどまり、一方、韓国の1.2倍、中国の4.4倍であった。そして韓国は2017年に日本と同じ3万ドル台に達し、中国も2019年には1万ドルの大台を超えた。

2020年以降は米国の数値が大きく伸び、ドイツ、韓国、中国も一人当たりGDPが着実に上昇したのに対し、日本のそれは4万ドルを割り2024年には33,000ドルと大幅に下落している。この結果、2024年には日本と韓国の順位が逆転し、また日本と中国の差は2.5倍に縮小している。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maedal@jcom.home.ne.jp

MENAと世界主要国の GDP 実質成長率(2024-25年)

国名	2024年4月見通し(今回)			2024年1月見通し(前回)		前回/今回比較	
	2024年 成長率 (%)	2025年 成長率 (%)	増減	2024年 成長率 (%)	2025年 成長率 (%)	2024年 成長率 (%)	2025年 成長率 (%)
全世界	3.2	3.2	0.1	3.1	3.2	0.1	0.0
米国	2.7	1.9	▲ 0.8	2.1	1.7	0.6	0.2
日本	0.9	1.0	0.2	0.9	0.8	▲ 0.0	0.2
ドイツ	0.2	1.3	1.2	0.5	1.6	▲ 0.4	▲ 0.3
英国	0.5	1.5	1.1	0.6	1.6	▲ 0.1	▲ 0.1
中国	4.6	4.1	▲ 0.6	4.6	4.1	0.0	▲ 0.0
インド	6.8	6.5	▲ 0.4	6.5	6.5	0.3	▲ 0.0
ASEAN-5 ヶ国	4.5	4.6	0.1	4.7	4.4	▲ 0.2	0.2
ロシア	3.2	1.8	▲ 1.4	2.6	1.1	0.6	0.7
中東・中央アジア諸国	2.8	4.2	1.5	2.9	4.2	▲ 0.1	0.0
サウジアラビア	2.6	6.0	3.4	2.7	5.5	▲ 0.1	0.5
エジプト	3.0	4.4	1.5	3.0	4.7	▲ 0.0	▲ 0.3
トルコ	3.1	3.2	0.1	3.1	3.2	0.0	▲ 0.0
イラン	3.3	3.1	▲ 0.3	3.7	3.2	▲ 0.4	▲ 0.2

Source:IMF World Economic Outlook Database Apr 2024 & January 2024(update)

世界上位 20 カ国と中東主要国の GDP(2024 年、at current price)

順位	国名	10 億ドル	%	累計
1	米国	28,781.08	26.3%	
2	中国	18,532.63	16.9%	43.2%
3	ドイツ	4,591.10	4.2%	
4	日本	4,110.45	3.8%	
5	インド	3,937.01	3.6%	54.7%
6	英国	3,495.26	3.2%	
7	フランス	3,130.01	2.9%	
8	ブラジル	2,331.39	2.1%	
9	イタリア	2,328.03	2.1%	
10	カナダ	2,242.18	2.0%	67.1%
11	ロシア	2,056.84	1.9%	
12	メキシコ	2,017.03	1.8%	
13	オーストラリア	1,790.35	1.6%	
14	韓国	1,760.95	1.6%	
15	スペイン	1,647.11	1.5%	
16	インドネシア	1,475.69	1.3%	
17	オランダ	1,142.51	1.0%	
18	トルコ	1,113.56	1.0%	
19	サウジアラビア	1,106.02	1.0%	
20	スイス	938.458	0.9%	80.8%
29	イスラエル	530.664	0.5%	
30	UAE	527.796	0.5%	
35	イラン	464.181	0.4%	
43	エジプト	347.594	0.3%	
	全世界	109,529.22	100.0%	
	(G7)	48,678.12	44.4%	
	(EU)	18,977.63	17.3%	
	(ASEAN-5)	3,466.84	3.2%	
	(ME and Central Asia)	4,965.98	4.5%	

世界主要国の一人当たり GDP (2024 年)

順位	国名	US\$
1	ルクセンブルグ	131,384
2	アイルランド	106,059
3	スイス	105,669
6	米国	85,373
19	ドイツ	54,291
35	韓国	34,165
38	日本	33,138
69	ロシア	14,391
72	中国	13,136
138	インド	2,731
(中東諸国)		
8	カタール	81,400
20	UAE	53,916
22	イスラエル	53,372
39	サウジアラビア	33,040
75	トルコ	12,765
117	イラン	5,310
135	エジプト	3,225

International Monetary Fund, World Economic Outlook Database, April 2024

